

調査結果の分析（内装仕上工事業）

①作業場面の分類

ヒヤリ・ハット事例を作業場面ごとに分類し、発生件数を集計した結果は表1の通りである。

「足場上作業時」に発生したヒヤリ・ハットが244件中120件（49.2%）と、全体の半数近くを占めている。以下、「資材運搬時」が52件（21.3%）、「施工作業中」が50件（20.5%）、「現場移動中」が19件（7.8%）、「その他」が3件（1.2%）となっている。

表1

分類	件数	割合
足場上作業時	120件	49.2%
資材運搬時	52件	21.3%
施工作業中	50件	20.5%
現場移動中	19件	7.8%
その他	3件	1.2%
合計	244件	100%

②事故の型

ヒヤリ・ハット事例が、仮にヒヤリ・ハットにとどまらず労働災害となった場合に、その事故の型を項目ごとに分類した。選択した項目（複数選択可）を集計した結果は表2の通りである。

事故の型のうち、「墜落・転落」が報告のあった244事例中108件（44.3%）で最多となっている。続いて「転倒」が86件（35.2%）、「飛来、落下」が28件（11.5%）となっている。

（割合は、報告のあった244事例に占める当該事故の型の件数である。）

表2

事故の型	件数	割合
墜落・転落	108件	44.3%
転倒	86件	35.2%
飛来、落下	28件	11.5%
切れ、こすれ	26件	10.7%
挟まれ、巻き込まれ	13件	5.3%
火災	8件	3.3%
激突	8件	3.3%
動作の反動、無理な動作	5件	2.0%
その他	4件	1.6%
激突され	4件	1.6%
踏み抜き	4件	1.6%
感電	3件	1.2%
交通事故（その他）	3件	1.2%
交通事故（道路）	3件	1.2%
分類不能	3件	1.2%
崩壊・倒壊	3件	1.2%
破裂	2件	0.8%
爆発	1件	0.4%
有害物との接触	1件	0.4%
合計	313件	128%

※複数回答可のため割合の合計は100%にはならない。

③原因（ヒヤリ・ハット体験時の心身状態）

ヒヤリ・ハットを体験した際の原因と思われる心身状態について、項目ごとに分類した。選択した項目（複数選択可）を集計した結果は表3の通りである。

原因のうち、「不注意（見落とした、気づかなかった等）」が報告のあった244事例中182件（74.6%）で最多となっている。続いて「危ないと思っていなかった」が69件（28.3%）、「身体のバランスを崩した」が67件（27.5%）となっている。

（割合は、報告のあった244事例に占める当該原因の件数である。）

表3

原因	件数	割合
不注意（見落とした、気づかなかった等）	182件	74.6%
危ないと思っていなかった	69件	28.3%
身体のバランスを崩した	67件	27.5%
大丈夫と思い手順を省略した	41件	16.8%
よく見えなかった	35件	14.3%
身体がついていかなかった	15件	6.1%
予測違いをした	14件	5.7%
手順、急所を忘れていた	12件	4.9%
無意識に手が動いた	9件	3.7%
見間違い、思い間違い	8件	3.3%
身体、気持ちが疲れていた	7件	2.9%
イライラしていた	6件	2.5%
近道	6件	2.5%
記憶違いをしていた	5件	2.0%
よく聞こえなかった	4件	1.6%
錯覚	3件	1.2%
やり違い	2件	0.8%
考えても解らなかった	2件	0.8%
心配事があった	1件	0.4%
合計	123件	220%

※複数回答可のため割合の合計は100%にはならない。